

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と学習 <b>Development and Learning Psychology</b>		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(教職科目(英語、栄養教諭))	なし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金(授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
①学校教育現場で起きている諸現象を心理学的に見る態度と力、②教育実践に貢献しうる心理学的知見と技術、を主たる授業内容として、教育に携わる態度と実践力の習得を図る。				
授業の目標				
①児童や生徒の発達とそれに伴う心理的問題について理解し、適切な対応をとることができるようにする。 ②発達段階に適した教育方法を理解し、それに応じた指導方法を取ることができるようにする。				
授業の方法				
前半は主に講義を行い、後半は心理学実験や受講生による模擬授業を実施する。				
学習の成果(学習成果)				
①小学生から中学生までの発達の過程と特徴を理解し、起こり得る心理的問題に対して予備的な知識を得て、適切な対応をとることができる。 ②発達段階を想定し、授業方法を工夫して授業計画を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス : 授業概要や目標の説明 成績評価と受講上のルール説明 教職を目指す動機を含めて自己紹介文作成と発表			
第2回目	発達の定義と基本的問題 環境の影響			
第3回目	発達段階と発達課題			
第4回目	発達の諸理論			
第5回目	乳児期から児童期			
第6回目	思春期から青年期			

第7回目	学習の理論 強化	
第8回目	記憶と学習	
第9回目	動機づけ 学習意欲	
第10回目	学習指導 教授法	
第11回目	学習の実験:実施	
第12回目	学習の実験:考察	
第13回目	模擬授業案作成	
第14回目	模擬授業実施	
第15回目	模擬授業実施	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	評価の基準
授業参加態度	割合 50%	教職習得の高い目的意識を持って積極的に参加し、ノートテイク、資料の読み込みを行っている。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容(態度含む)	割合 50%	授業の対象者の年齢を設定し、その発達段階にふさわしいテーマを選択し、説明する言葉や教材を工夫し、落ち着いた態度で発表している。
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。適宜、資料を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
教育問題に関心を持ち自発的に調べるなど、積極的に参加することを期待する。		